

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	脇 一則
環境-27 今泉クリーンセンター収集事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 環境センター(今泉クリーンセンター)
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課 環境部各課・管財課
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	一般廃棄物の適正な処理のため
効果	生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる

2 平成26年度に実施した事業の概要

大船、玉縄及び深沢地域の一部のごみの収集・運搬作業を行った。 ごみの減量・分別・資源化を推進するため、市民及び事業者への指導と啓発活動を実施した。 清掃車両の整備及び管理を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	データ区分		データ区分		
人口等のデータ	人口	177,243人	人口	177,464人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
	事業の対象者数	74,548人	事業の対象者数	74,343人	
運営資源状況	当初予算(千円)	12,892	決算値(千円)	11,703	/
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	12,892	一般財源	11,703	
	人員配置数	31.3	人員配置数	31.3	
事業経費運営	人件費(千円)	253,981	人件費(千円)	248,016	/
	総事業費(千円)	266,873	総事業費(千円)	259,719	
	市民1人当りの経費(円)	1,506	市民1人当りの経費(円)	1,464	
	対象者1人当りの経費(円)	3,580	対象者1人当りの経費(円)	3,494	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	退職者不補充等に伴う職員数の減少、また、「声かけふれあい収集」の世帯数が増加傾向であるため収集体制の確保が困難になってきている。	
課題解決のために行った平成26年度の取組	作業編成の見直し、新たな分別が実施された「製品プラスチック」収集を民間に委託し対応した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	「声かけふれあい収集」は直営収集の継続を前提としていくべきであり、また、災害時等の緊急な対応も含めた一定数の直営職員の確保。	

効率性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適格に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー 自治・町内会長、廃棄物減量化推進員

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	事業へ統合
	予算規模の方向性 <input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	収集車両に係わる経費と計量業務に従事する嘱託員の報酬が予算の大半を占めるが、現状の人員はもとより機材等の維持が必要である。また、計量業務についても、市民等のごみの持ち込み対応に欠かせない業務である。	
総評	市民生活に密着した欠かせない事業であり、安定した質の高い市民サービスの提供、また、災害時等の迅速な対応のため一定数の職員の確保を図っていく。			

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	燃やすごみの年間収集量						単位	t	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
ごみの減量・資源化へのさらなる取り組みのため	目標値	7,700.0	7,700.0					目標値に対して実績値を下げたいため			
	実績値	9,742.7									
	達成率	73.5%									
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	ごみの焼却量の削減には分別・資源化の強化と継続が不可欠であるため、引き続き指導・啓発活動を行っていきます。										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---